

参加体験型による人権教育

—欧州評議会の人権教育マニュアルにみる指導方法—

講師：筑波大学人間系 准教授 田中 マリア

欧州評議会企画人権教育マニュアル 『コンパス』『コンパシート』

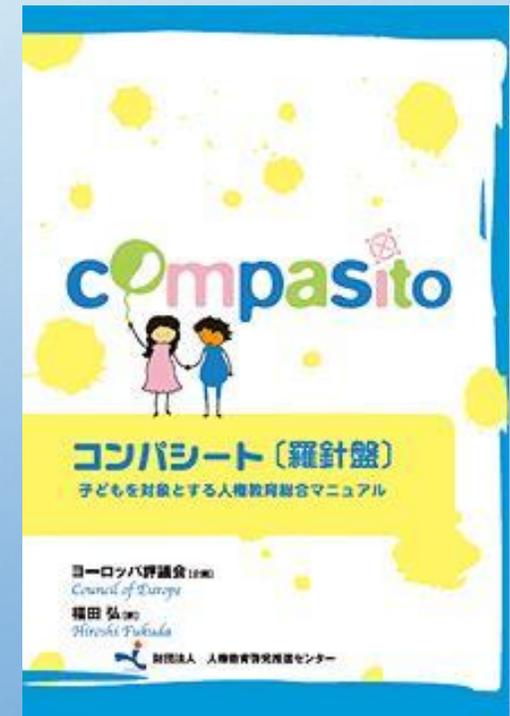
※「欧州評議会」

人権、民主主義、法の支配の分野で国際社会の基準策定を主導する汎欧州の国際機関。日本も1996年11月に教皇庁、米国、カナダに次いで4番目のオブザーバー国となった。
([HTTPS://WWW.MOFA.GO.JP/MOFAJ/AREA/CE/INDEX.HTML](https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ce/index.html))

日本語訳)

ヨーロッパ評議会企画、福田弘訳『人権教育のためのコンパス〔羅針盤〕』明石書店
2006年

『コンパシート〔羅針盤〕』人権教育推進センター2009年





コンパシート・セミナー

ヨーロッパ評議会が作成した包括的で卓越した人権教育の手引書『コンパシート（羅針盤）』に基づいて、人権に関する基礎知識と参加体験型人権教育の実践方法を習得するセミナーです。教育関係者、地方公共団体や企業の人権担当者、ファシリテーションのスキルアップを目指す皆さま、ぜひご参加ください。受講した方には修了証を発行します。《参加無料》

◆会場：人権ライブラリー 多目的スペース ※(公財)人権教育啓発推進センター内
〒105-0012東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F

会場アクセスマップ⇒



- ◆講師：田中 マリアさん ※筑波大学人間系准教授、博士(教育学)
- ◆定員：20人 ※先着順 定員になり次第、受付を締め切ります。

「コンパシート・セミナー」のWEBページはコチラから!

検索は 🔍



人権教育のとらえ方

一般的なイメージは、

Education about/on human rights:

人権「についての」教育

人権問題としての具体的諸課題(例:平成23年に閣議決定された13の課題など)

(内容的側面)

人権教育のとらえ方

それ以外にも、

Education for human rights:

人権「のための」教育

「人権」という考え方、価値観を守り、育み、継承する
(目的側面)

人権教育のとらえ方

Education as human rights:

人権「としての」教育

「教育を受けることそのものが人としての権利である」あ
らゆる権利の保障
(保障的側面)

人権教育のとらえ方

Education through/in human rights:

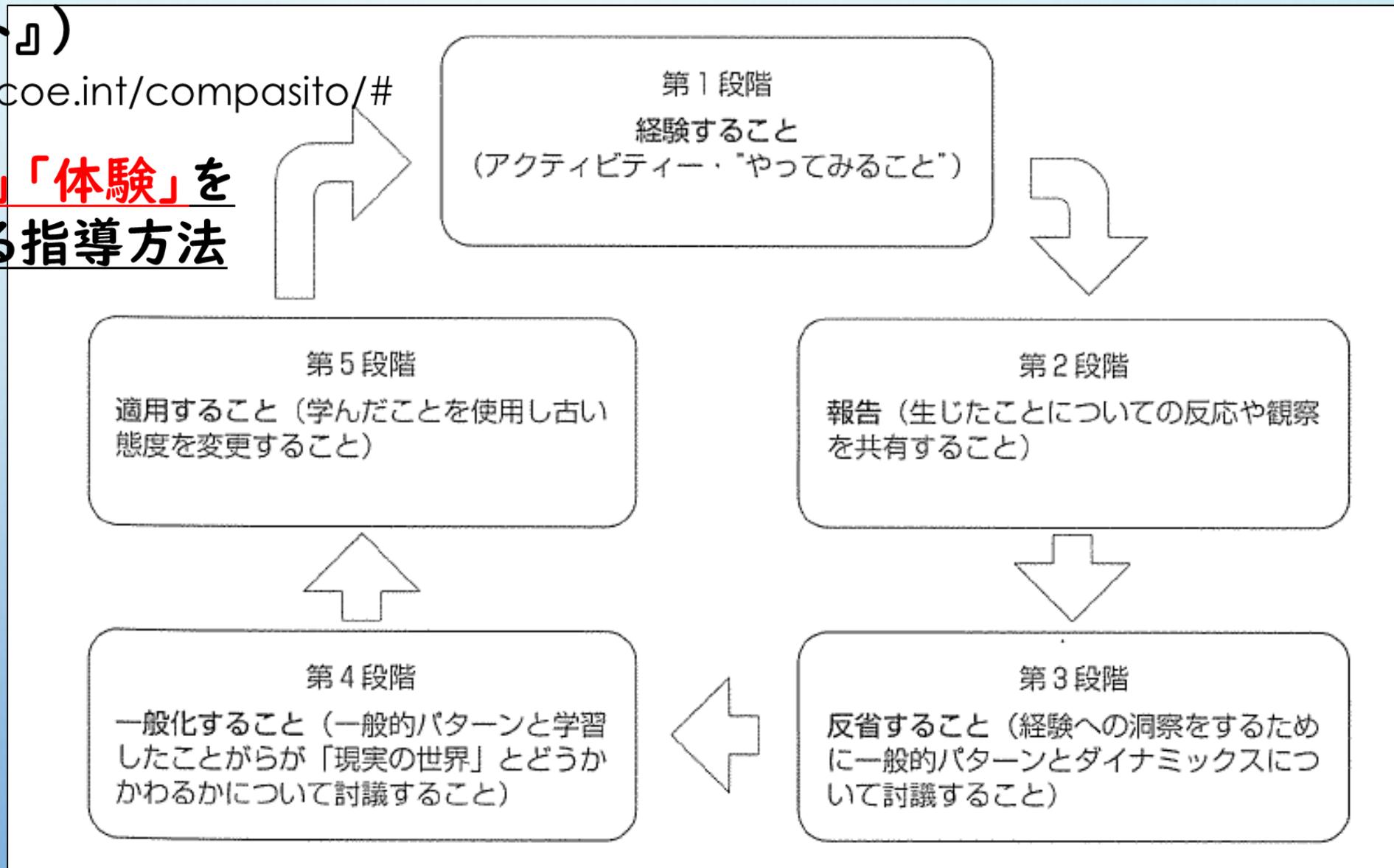
人権「を通しての」教育

「学習プロセス」そのものが人権の守られた状態で行われる
(学習プロセス、方法的側面)

欧州評議会企画人権教育マニュアル (『コンパシト』)

<http://www.eycb.coe.int/compasito/#>

「協力」「参加」「体験」を
基本原理とする指導方法



「ファシリテーター (facilitator)」としての教師

	従来型の教師	ファシリテーター型の教師
求められる教育形態	トップダウンの教育、ピラミッド型	<u>ボトムアップの教育、ネットワーク型</u>
学習内容と過程	知識や情報を与え、内容量をより充実させていく	予定していた内容とそれを <u>きっかけとして気づく想定外の内容とがある</u>
実践者の発言量	予定した学習内容を伝え教えることが重視されるため、発言量が多くなる	<u>学習者同士で学び合う過程において引き出されるものもあるので、発言量は少なくなる</u>
立ち位置	意見をコントロールすることで結論へと結びつける	<u>学習者なりの結論にいたる案内をする</u>
集団への介入	自分の力で場を盛り上げる	<u>集団の力で場を盛り上げる</u>
雰囲気づくり	結論ありきの空気が醸し出されるため、(反対)意見が言い出しづらくなる	<u>全員の意見が尊重されるため、何を言ってもいい、安心安全な場が保証される</u>
リーダーシップ	集団を先導するような力強さ	集団を活かす <u>しなやかさ</u>
参加感	発言できなかった学習者への対応が不十分になりがちで、疎外感を覚える	何かしら場に貢献できる存在として捉えられるため、 <u>「いてもいい」という安心感を覚える</u>

(表は、石川一喜・小貫仁編『グローバルな学びをめざす参加型授業 教育ファシリテーターになろう!』弘文堂2015年に基づき、引用者が作成した)

参加体験型による
人権教育の例として、
『コンパシート』の
アクティビティをひとつ、
体験してみましよう!